

製品名: TAB3 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87305**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000, ICC/IF 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:79 kDa; Observed MW:82 kDa

抗原情報

遺伝子名	TAB3
別名	NAP1; MAP3K7IP3
遺伝子ID	257397
SwissProt ID	Q8N5C8
免疫原	ヒトTAB3の合成ペプチド

背景

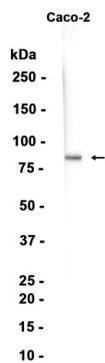
この遺伝子産物はNF- κ Bシグナル伝達経路において機能する。コードされているタンパク質は、類似しており機能的に重複したタン

パク質である MAP3K7IP2/TAB2 と共に、炎症誘発性サイトカインである TNF または IL-1 による刺激にตอบสนองして、タンパク質キナーゼ MAP3K7/TAK1 および TRAF2 または TRAF6 と三量体複合体を形成する。その後、MAP3K7/TAK1 キナーゼの活性がシグナル伝達カスケードを誘導し、NF- κ B 転写因子の活性化につながる。ヒトゲノムには関連する偽遺伝子が存在する。選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが報告されているが、その生物学的妥当性は未だ確立されていない。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

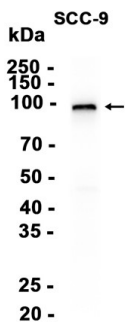
研究分野

-

画像データ



TAB3 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した Caco-2 細胞抽出物のウェスタンプロット分析。



AMRe87305 を 1:1000 で使用した SCC-9 細胞抽出物のウェスタンプロット分析。